



# カンボジアに対する保健・医療分野の主な支援



## 分娩時及び新生児期を中心とした母子継続ケア改善プロジェクト(2016年5月～2021年5月)



### 【課題】

カンボジアでは、母子保健分野について目覚ましい改善が見られる。しかし、新生児死亡率については、他の指標に比べて改善スピードが緩やかで、乳児死亡の5割以上が生後28日までの新生児期に起こっており、新生児死亡率の改善が喫緊の課題となっている。

### 【概要】

本協力では、分娩時および新生児期のケアを中心とした母子継続ケアの改善を図り、もって新生児死亡率の減少に寄与する。

## バタンバン州病院改善計画 (2017年3月30日EN締結、現在実施中)



### 【課題】

カンボジアでは、近年国単位の保健指標の改善は見られるが、都市と地方間の保健医療に関する格差はまだまだ存在し、地方における医療サービスの向上が課題となっている。

### 【概要】

本協力では、バタンバン州のトップレファラル病院であるバタンバン州病院の施設及び医療機材を整備することにより、近隣州を含む当該地域の保健システム強化を図り、もってその医療サービスの質向上に寄与する。



## 救急救命医療整備事業 (2015年LA締結、現在実施中)

### 【課題】

生活習慣病と関わりの深い脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)は救急救命処置が重要であるが、カンボジア国内では開頭手術等適切な処置を行うことができる医療機関がなく、適切な治療を行うことができなかった。

### 【概要】

本協力では、プノンペン都において、脳神経外科を中心とした診療やリハビリ、健康診断を行うことを目的として救命救急センターを設立するとともに、カンボジア人医療従事者の人材育成につながることも期待され、もって救急医療体制の整備、非感染症疾患への対応強化を図る。



# ラオスに対する保健・医療分野の主な支援



## 持続可能な保健人材開発・質保証制度整備プロジェクト (2018年7月～2023年7月)



### 【課題】

ラオスにおける保健人材は、首都と地方間では質の面で格差がある状況。また、保健人材の質を保障するための免許制度や教育機関におけるプログラム、卒後教育の内容が未整備であることなどから、卒業生の能力にばらつきが生じており、その改善が急務となっている。

### 【概要】

本協力では、より良い保健サービスを提供するため、看護師・助産師等といった医療従事者の免許制度を整備し、特に看護師の国家試験の導入を支援するとともに、研修実施体制を改善することにより、保健人材の質の向上を図っている。

## 保健医療サービスの質改善プロジェクト (2016年2月～2021年2月)



### 【課題】

ラオスは、2025年までのユニバーサル・ヘルスカバレッジ(UHC)達成を掲げており、医療保障制度の整備のみならず、各レベルの保健医療施設において、必要なサービスが確実に提供されることが重要。これまで日本は技術協力により、南部地域において、県・郡レベルの保健局の事業計画策定やモニタリングなどの具体化と実施能力の向上を図ってきた。

### 【概要】

本協力では、これまでの協力の次の段階として、南部4県の県・郡病院、保健センターで、母子新生児保健を入り口とした保健サービスの質の向上を図っている。これにより、全国の保健施設で質の高い保健医療サービスが提供されることが期待される。



## セタティラート病院及びチャンパサック県病院整備計画

(2018年2月9日EN締結, 現在実施中)

### 【課題】

ラオスは、南部中心に貧困率が高く、保健指標も低い状況。セタティラート病院は首都の中央総合病院として、チャンパサック県病院は南部地域の拠点病院としてそれぞれ医療サービスの提供と共に、医師・看護師の育成においても中核的役割を期待されているが、機材の老朽化や不足により、増大・高度化する患者のニーズや人材育成のニーズに十分に答えられていないのが実状。

### 【概要】

本協力では、セタティラート病院の施設と、同病院及びチャンパサック県病院の医療機材を整備することにより、医療サービスの質の向上と、医師・看護師の研修環境の改善を図る。



# ミャンマーに対する保健・医療分野の主な支援



## 【保健サービス強化】

保健システム強化プロジェクト(2014年11月～2018年11月)

### 地方総合病院の整備



#### 【課題】

ミャンマーにおける保健医療サービスは、公的財源不足も背景に、医療従事者の不足、医療施設・機材の老朽化、非効率な保健医療サービスのマネジメント体制、主に農村部を中心とした保健医療サービスへのアクセス等の課題を抱えている。

#### 【概要】

中央及び州レベルの保健計画管理能力強化のため、保健省における病院データの管理・利活用の体制整備、州保健計画の立案・実施・モニタリング・評価体制強化に協力。また、地方の拠点病院(ラーショー、ロイコー、ダウェイ、マグウェイ等)の施設整備・機材供与も実施中。

## 【保健人材育成】

医学教育強化プロジェクト(2015年4月～2019年9月)



#### 【課題】

ミャンマーでは、医療従事者(医師、看護師、助産師)が質・量ともに不足しており、また、医療人材輩出の拠点である医科大学においても、医学教育の質や研究人材育成、臨床医の診断技術の向上等の課題を抱えている。

#### 【概要】

ミャンマーの4医科大学において、基礎医学6分野における研究・教育能力強化、臨床医学及び救急医療にかかる研修プログラムの強化を行うことにより、医科大学の研究・臨床技術・教育能力の向上に協力。



## 【感染症対策】 マラリア排除モデル構築プロジェクト(2016年3月～2021年3月) 感染症対策アドバイザー(2019年8月～2021年8月)

#### 【課題】

ミャンマーでのマラリア罹患率は減少しつつあるが、薬剤耐性菌の脅威が高まっており、サーベイランスネットワークの強化や感染地周辺への集中的な介入等を含むマラリア排除のモデル作りが必要。また、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)も受け、呼吸器疾患に対応した検査体制や院内感染対策も必要。

#### 【概要】

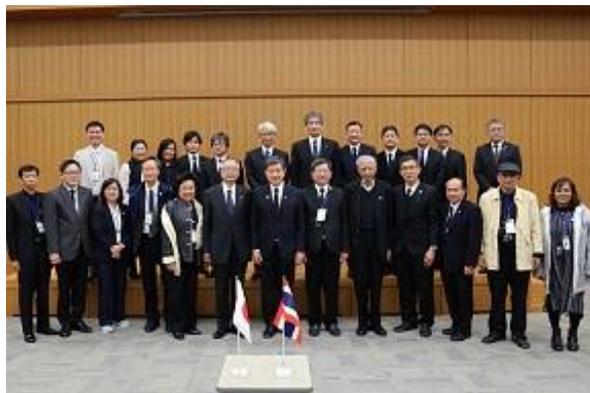
パイロット地域におけるマラリア排除の仕組みの実証、全国展開可能なモデル構築に向けた協力を実施中。また、感染症対策アドバイザーを通じ、COVID-19対策のための検査試薬の提供や感染対策に向けた研修等を実施中。



# タイに対する保健・医療分野の主な支援



## グローバルヘルスとユニバーサルヘルスカバレッジのためのパートナーシッププロジェクト(2016年7月～2020年7月)



### 【課題】

タイは、2002年に医療保障制度を開始し、国民のほぼ100パーセントを医療保障制度でカバーできるようになった。他方、医療費保障制度の運営面や医療サービスの質には課題が残っている。

### 【概要】

タイの医療保障制度の改善を含めた国内におけるユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)の実践改善に協力。また、低・中所得国の中でも早期にUHCを達成したタイの経験を活かし、タイと連携してUHCの達成を目指す他の開発途上国への協力も実施中。

## 高齢者のための地域包括ケアサービス開発プロジェクト(2017年11月～2022年10月)



### 【課題】

タイでは社会保障制度の構築がなされない中で急速な高齢化が進んでおり、医療・介護ニーズについてタイの実情を踏まえた適切な対応が必要。リハビリテーションや在宅復帰の支援が不十分で、寝たきりとなる患者が多い点に課題がある。

### 【概要】

高齢者が要介護状態に陥らないよう、中間ケア(急性期医療から在宅に円滑に移行するためのケア提供の仕組み)の強化を通じて、退院患者の円滑な在宅移行を支援するサービスモデルの開発を支援している。



## ASEAN災害医療連携強化プロジェクト

(2016年7月～2021年3月)

### 【課題】

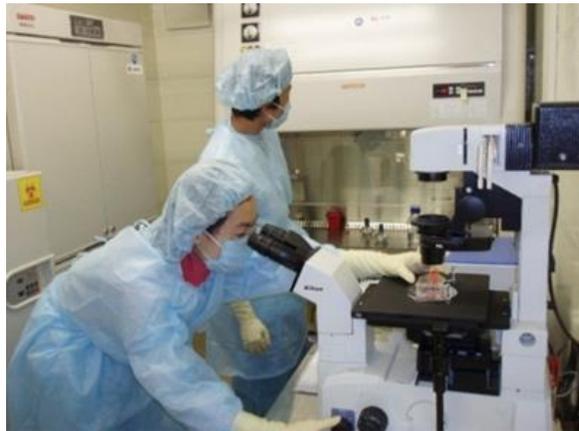
ASEAN地域は世界的に見ても自然災害が多く、災害医療が優先課題の一つに掲げられている。他方、国レベルにおける災害医療の能力も差が激しく、地域レベルでの災害時連携体制の構築が不十分。

### 【概要】

タイ保健省およびタイ国家救急医療機関を実施機関とし、災害医療のASEAN地域連携の実践訓練、地域連携ツールの開発、研修の実施等を通じて、ASEAN地域災害医療の連携体制の強化を支援する。

# ● ベトナムに対する保健・医療分野の主な支援

## 感染症の予防・対応能力向上のための実験室の機能及び連携強化プロジェクト (2017年7月～2022年7月)



### 【課題】

ベトナムは、様々な感染症の脅威に晒されてきた。政府は感染症の流行防止のため、国内における正確・迅速な検査体制の構築を急務としている。

### 【概要】

本事業は、ベトナムの対象地域において、高危険度病原体を含む感染症の実験室診断能力向上のための施設整備及び研修の実施、また実験室間のネットワーク構築及び強化を行うことにより、高危険度病原体にかかる実験室診断能力及びネットワークの信頼性の向上を図り、もってベトナム全土及び周辺国(ラオス、カンボジア)で高危険度病原体によるものを含む感染症の流行の適切な制御に寄与するものである。



### 【過去の関連する協力】

これまで以下の協力を通じて、高危険度病原体を扱う実験室の整備を行い、そこを活用した高危険度病原体の診断技術の移転と4か所の地域拠点研究所及び10省の省疾病管理センターとのネットワーク構築を行ってきた。

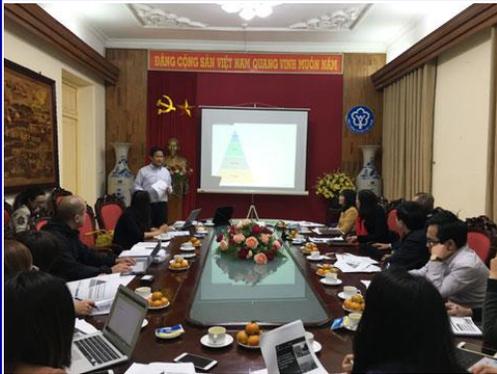
#### ➤ 無償資金協力

・「国立衛生疫学研究所高度安全実験室整備計画(2006-2008年)」

#### ➤ 技術協力

・「国立衛生疫学研究所機能強化計画プロジェクト(2006-2010年)」

・「高危険度病原体に係るバイオセーフティ並びに実験室診断能力の向上と連携強化プロジェクト(2011-2016年)」



## 診療報酬及び保険適用診療サービスパッケージ改善プロジェクト

(2017年10月～2020年4月)

### 【課題】

ベトナムは、高齢化の進展が早く、これに伴う医療費の増大に備える必要がある。長期的視野に立った持続的な健康保険制度の整備が急務となっている。

### 【概要】

本事業は、診療報酬支払方式および保険適用サービスパッケージの運用の仕組みを強化し、健康保険制度改善に向けた戦略計画を策定することにより、健康保険基金の収支改善、保険加入率向上、患者自己負担の軽減等、持続的な健康保険制度の改善に寄与するもの。